

[経済]学部1年女子の 合格体験記

自己紹介

私は2018年春に入学した経済学部の1年生です。神奈川県出身です。一般入試で入学しました。

東北大を志望した時期とその理由

志望した時期：浪人中のセンター試験後

理由：第一にはセンター試験の結果です。それによって、まずは受験校の候補を何校かに絞りました。その後、東北大学経済学部の、経済学と経営学の両方を学ぶことができるという点に魅力を感じたため、志望することに決めました。

受験期の勉強方法

全科目を通して言えることは、「塾のテキストを完璧にする」ことを目標にして勉強していたということです。例えば、数学はテキストに載ってる問題だけは何としてでも完璧に解けるようにする、英語は文法問題や長文問題に含まれる単語や熟語は全て覚える、などです。復習した日付、間違えた回数チェックをつけて、何度も間違える問題はノートにまとめていました。これは塾のテキストでなくても、高校の教科書や問題集・参考書でも構わなかったと思っています。一つの教材を完璧に仕上げることは、知識の定着への一番の近道であり、自信にも繋がると思います。

モチベーションの保ち方

私は毎週日曜日に、1週間のうちにやるべきことをリストアップし、毎晩、次の日の勉強スケジュールを組んでいました。勉強を始める前に、「今日中にこれらを終わらせないと！」と思うことでモチベーションを上げることができました。また、やるべきことを予め決めておくことで、モチベーションの状態に関わらず、すぐに勉強に取り組むという習慣もできるのでオススメです。

受験直前～当日

私は受験日前日に仙台に着きました。キャンパスの下見をして、ホテルに戻った後は勉強をしていました。今まで間違えた問題をノートにまとめていたので、ひたすらそれを解いていました。何度も復習していたので、全ての問題が「確実に解ける問題」であることは分かっていたのですが、だからこそ、前日にそれに取り組みました。自分で今まで間違えた問題をスラスラと「解ける」ことはとても自信に繋がります。「これだけやったんだから大丈夫」、と思うことができるので、私にとっては一番のリラックス方法でした。

【寮生活】

私は東北大学の寮の一つである、ユニバーシティ・ハウスに住んでいます。留学生との共同生活で、1ユニット8人のうち、2人～5人ほどの留学生がいます。私のユニットは日本人4人と中国人4人なので、日本語・中国語・英語が飛び交う環境です。一番の苦手教科が英語という私ですが、留学生のメンバーともどうにかコミュニケーションをとって頑張っています。自炊や掃除、洗濯などは各自で行うため、生活力は身に付きつつも、帰ったら「おかえり」と言ってくれる人がいるというのは安心感があって嬉しいですね。

【サークル】

私はおおわんの他にも2つのサークルに入っています。サークルは他学部や他学年との関わりができる場です。尊敬できる先輩方や大切な友人達と出会うことができ、どのサークル活動も自分にとってとても意味のあるものとなっています。インカレ(複数の大学の学生が参加するサークル)のバスケットボールサークルでは、他大学の友人もできました。放課後や休日はサークルやバイトの予定で埋まっていますが、勉強との両立も頑張っています。忙しくはありますが、毎日とても充実しているなど感じています。

受験生へのメッセージ

自分を合格させることができるのは自分だけです。大学生になった未来の自分が、今の自分に感謝できるよう、悔いのない受験をしましょう！

